

# かわねほんちょう 議会だより

第44号

平成28年11月発行

発行 / 川根本町議会  
編集 / 議会広報委員会



みんなで気持ち合わせて、心に響く音色届けたよ！

## \* も く じ \*

- ◎平成27年度決算審査報告.....2～6
- ◎9月定例議会報告 .....7
- ◎一般質問 .....8～11
- ◎特集・町の課題「林業の明日を拓く」(最終回).....12
- ◎あの一般質問どうなってるだやあ～・トーマスフェアおもてなし隊...13
- ◎町民念願の心の架け橋となる青部バイパス .....14
- ◎新シリーズ！わが町の明日を拓く人たち .....15
- ◎議会日誌・12月議会日程・編集後記 .....16

# ・特別会計決算を認定

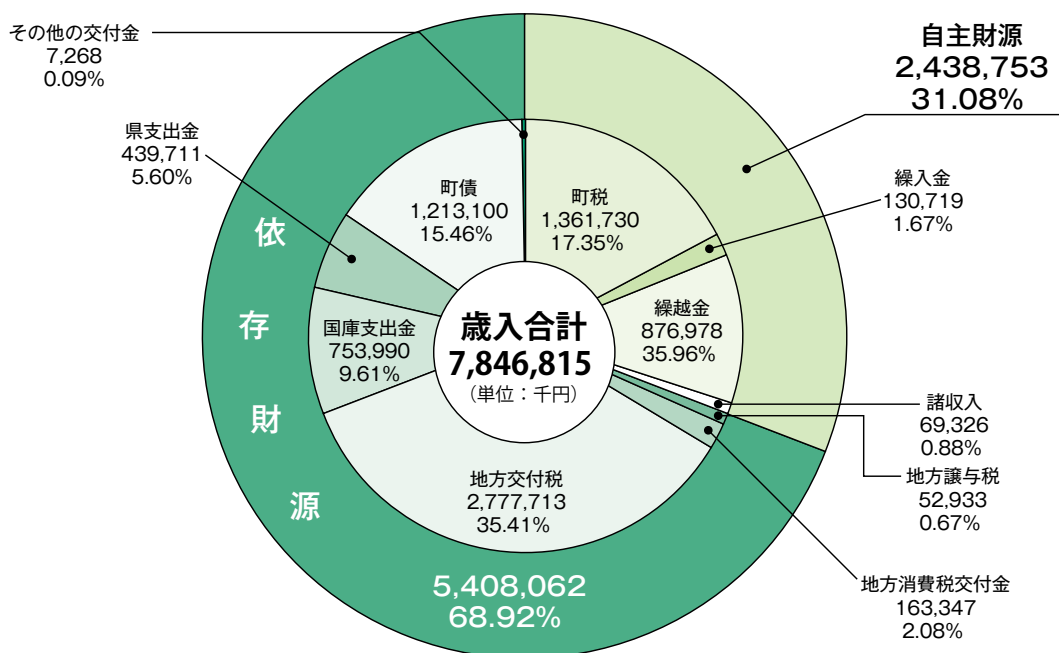
に、事業実績や効果などの説明を各担当課から受けました。今年は第一常任委員会（総務任委員会（商工観光課、産業課、建設課、教育総務課、生涯学習課）に分かれ、それぞれ充実した委員会となりました。また、16日には現地調査を行いました。

## ☆ 5年間の町税の推移

(単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
町 民 税	336,478	296,833	302,038	294,537	302,116
固定資産税	937,801	903,944	1,018,510	1,034,079	1,001,914
軽自動車税	20,683	20,909	21,237	21,594	21,924
町たばこ税	29,893	29,758	33,136	31,391	30,231
入 湯 税	5,455	6,997	5,614	5,339	5,545
歳 入 合 計	1,330,310	1,258,441	1,380,535	1,386,940	1,361,730

## 【平成27年度決算】 一般会計歳入の内訳



創造と生きがいの湯



桑野山貯木場

# 平成27年度 一般会計

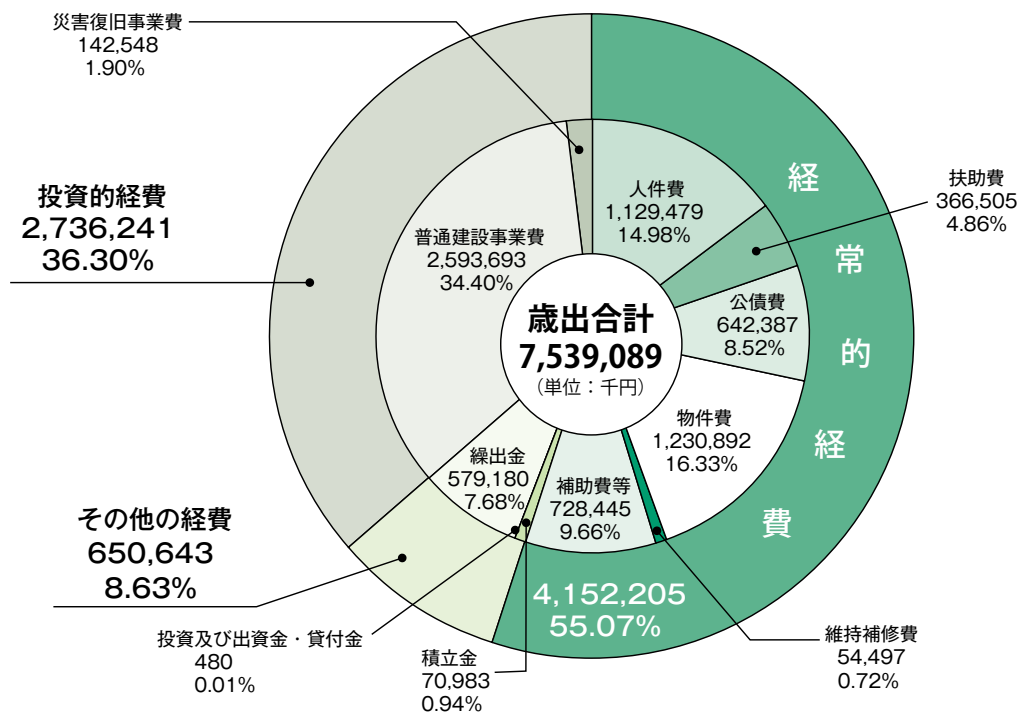
9月13日から16日まで決算審査を実施しました。事前に抽出した27年度の事業を中心課、企画課、情報政策課、生活健康課、福祉課、税務課、出納室、議会事務局)、第二常の担当課の審査を行いました。4日間でしたが、委員からは活発な質疑や意見等が出され

## ☆5年間の基金残高と起債残高の推移

(単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
財政調整基金残高	1,451,325	1,679,998	1,680,733	1,681,802	1,684,681
減債基金残高	47,731	93,565	464,966	94,074	94,094
国民健康保険給付等支払準備基金残高	138,578	132,003	83,037	96,958	110,879
簡易水道基金残高	90,436	80,315	68,293	41,794	24,518
温泉事業基金	9,954	9,956	9,959	9,961	9,964
起債残高	5,957,223	5,527,109	5,006,106	5,302,364	5,928,466

## 【平成27年度決算】 一般会計歳出の内訳



## ☆特別会計歳入歳出決算認定

(単位：千円)

	年度	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	簡易水道	温泉	いやしの里診療所
歳入決算額	26年度	964,932	119,381	1,179,208	273,978	39,014	39,294
	27年度	1,086,222	117,480	1,190,557	288,398	33,308	40,962
歳出決算額	26年度	904,802	119,321	1,161,365	270,509	38,913	39,192
	27年度	1,026,172	117,285	1,146,615	281,722	33,007	40,879
繰越額	26年度	60,132	60	17,844	3,469	101	103
	27年度	60,050	195	43,942	6,676	301	83
27年度当初予算額		1,079,546	119,000	1,121,438	301,347	34,598	43,938

# 第一常任委員会の 審査報告

付託議案 5 件

審査日 平成28年9月14日(水)、15日(木)

第1常任委員会 報告者 委員長…園田靖邦

副委員長…鈴木多津枝 委員…中澤莊也・森照信・小藪侃一郎・山本信之

14日午前中に総務課・企画課・情報政策課を、午後からは生活健康課・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・いやしの里診療所特別会計を、15日午後から福祉課・介護保険特別会計、税務課・出納室、議会事務局を審査しました。

## ◎一般会計：賛成多数

### ◎まちづくり事業費では

**問** 空き家改修費の補助を限度額100万円に拡充した効果は？

**答** その家族、扶養家族を入れた方が移住してきて頂いたこと。まだ1件だが多数の家族に住んで頂くことはありがたいと思っている。

**答** かわねフォンは固定の設置になるので、例えば枕元に置いての使用は想定していない。医療現場や介護現場ではタブレット端末を活用していきたい。担当の部署において検討中という認識でいる。

### ◎老人福祉費では

**問** あかいしの郷の増築用地造成の見通しは？

**答** 当初は28年度中に開設を予定していた。用地の取得でスムーズに進まなかったことと、建物が2階建てになるという事で設計の見直しがあった。現在の見込みでは、来年度半ば過ぎに開設予定。

### ◎基金について

**問** どのような形で運用しているのか？

**答** 全部で15種類の基金を約40億円保有している。定期預金で43%、普通預金で21%、債権で36%運用している。※反対討論では「地区集会所の大規模修繕に対する負担、平和の町づくり宣言決議や懸垂幕の問題、かわねフォン負担金、子育て支援、若者定住支援から地名保育園再開など、予算での指摘が生かされていない」など出された。

### ◎国民健康保険特別会計

…全員賛成

### ◎後期高齢者医療特別会計

…全員賛成

### ◎介護保険特別会計

…賛成多数

**問** 通所介護が減っている理由はなにか？

**答** 傾向として介護度が低い方と重い方の二極化がある。65〜70歳では、施設に通うより自宅に来てもらう訪問介護が延びている。※反対討論では「保険料が県内で2番目、引き上げ額は最高で、高齢者からは『負担が重い。利用を控えるなければいけない』との声も。県の借入金や一般会計繰入で保険料値上げを抑えるべき」など出された。

**答** 傾向として介護度が低い方と重い方の二極化がある。65〜70歳では、施設に通うより自宅に来てもらう訪問介護が延びている。※反対討論では「保険料が県内で2番目、引き上げ額は最高で、高齢者からは『負担が重い。利用を控えるなければいけない』との声も。県の借入金や一般会計繰入で保険料値上げを抑えるべき」など出された。

### ◎いやしの里診療所特別会計

…全員賛成

※最後に委員長より、分割審査方法には、委員から「これまで通り全課を審査し、質問・要望が言える方が良い」との意見もあり、検討課題としました。更に第1・第2常任委員会の勉強会が必要であることを、委員長として感じました。結びに、審査にあたり、担当課長、職員、委員の皆様のご協力により円滑に進めることができました。お礼申し上げます。



古民家活用レストラン

**問** 情報政策費では端末（かわねフォンの活用方法として訪問看護等での活用は？



中川根デイサービスセンター風景



第一委員会審査状況

# 第二常任委員会の 審査報告

付託議案3件

審査日 平成28年9月13日(火)、15日(木)

第2常任委員会 報告者 委員長・芹澤廣行

副委員長・根岸英一 委員・太田侑孝・中田隆幸・野口直次・坂本政司

13日午前中に商工観光課と温泉特別会計、産業課を、午後からは建設課と簡易水道特別会計を、15日午前中、教育総務課と生涯学習課を審査しました。

## ◎一般会計：全員賛成

### ○農業委員会費の機構集積支援事業では

**問** 農地相談員設置の効果と活動について。

**答** 所有者の意向が解り、農業委員を兼ねること、耕作放棄地解消の対策が進めやすくなる。耕作放棄地の地主と面談して、意向調査を実施している。

**答** 昨年からJAが購入ということで精算している。今後はJAが毎年購入すると言っている。

**問** 全品対策の中で、上位入賞を目指し補助金の増額を考えているか。

**答** 出品者の経費負担は大変な金額だと認識しており、前向きに協議していきたいと考えている。

### ○林業振興費では

**問** 苗木の防護柵の国・県・町の全額補助の理由は何か。

**答** 天然記念物のカモシカは駆除ができないので、国・県・町が防護すべきと考えの下、受益者負担が無いように、造林に関して全額保証している。

## ◎長島ダム水源地域振興費では

**問** 長島ダム周辺施設維持管理費の財源確保について

**答** ダム周辺を管理するのは本来国交省だが、町が受けて管理したいという原点に返ると、今後も、協定を結び協力していくことになる。水源地を守るため国交省、県、流域市町、当町でやることを大義名分とし、現在県へ陳情している。

### ○土木総務費では

**問** TOUKAI10(ゼロ)の実績について

**答** 耐震診断対象の1440戸中、231戸で、診断率は21・68%で、ブロック塀は13件である。

### ○教育総務費では

**問** 南麓寮の生徒の現

状はどうか？

**答** 自主的にルールを決めて、自治を始めるような雰囲気があり、仲良く生活している。

**問** 中学生の海外英語研修は希望通り参加できたか。

**答** ほぼ希望通り参加できている。

ネットワークでつなぎ、一括して管理している。

## ◎温泉事業特別会計

…全員賛成

**問** 寸又峡温泉の引湯管の再補修工事の必要はあるのか？

**答** 露出管方式なので、故障場所がすぐ分かり、補修費用は少額で済む予定である。

## ◎簡易水道特別会計

…全員賛成

**問** 水圧の低下している家への加圧機の設置はできないか。

**答** 現在個人に対する保証はしていないが、今後検討していく。



各地で広がる耕作放棄地



中学生海外英語研修(カナダ)



第2常任委員会審査状況

# 決算審査最終日（9月16日）に現地調査を行いました。

## 9:00 本庁出発

参加者：第1常任委員6人  
第2常任委員6人  
町長・副町長・議会事務局長  
町マイクロバス（議会事務局職員運転）



## 9:50～…下長尾教員住宅単身寮

雨漏り・老朽化状況視察  
築35年、個室14室中10人入居。  
早急に建て替え・改修の必要あり



## 11:25～…地名集会所広場整備

いやしの里事業で東屋建設等  
事業費139万円  
(内町補助111万円)

## 9:15～…林道水川線法面崩落災害復旧工事

工事費 4,014万円  
(内県補助3,414万円)  
工期 H27.7.8～H28.1.29  
法面保護  
(モルタル吹付)



## 10:15～…下泉不動の滝キャンプ場

トイレ・ゴミ集積場改修200万円  
リピーター、長期滞在者が増えている。



## 11:00～…塩郷吊橋床板取替え

橋長さ220m  
工事費457万円  
来訪者増で待ち  
時間が長い



**反対!!**  
鈴木多津枝  
反対と言うには辛い  
思いで、日頃の担当職  
員の皆様の昼夜を分か  
たぬご苦労に心から感  
謝する。反対理由は、  
保険料の驚く値上げが  
行われ、県内最高の値  
上げとなった。高齢者  
から悲鳴があがってお  
り、そのことがサービ  
ス利用にブレーキとな  
り重症化を招きかねな  
い。一般会計繰入で保  
険料値上げを回避すべ  
き。

**賛成!!**  
中澤 莊也  
平成27年度における大  
幅な保険料の値上げは、過  
去の実績や今後の要支  
援者の推移等を勘案し  
ながら行われたもので  
あり、制度を恒久的に  
維持していくためやむ  
を得ない措置と考  
えらる。また、低所得  
者には、法に基づいて  
適切な軽減措置が取ら  
れている。介護給付費、  
介護予防費等に  
対する支出も適切で  
あると認められる。  
以上の理由により  
平成27年度介護保  
険事業特別会計決  
算に賛成する。

**平成27年度一般会計決算認定に**  
**反対!!**  
鈴木多津枝  
大部分が町民生活に  
直結した決算で職員の  
皆様の努力に感謝する。  
それでも反対するのは  
喫緊の課題である子育  
て支援、若者支援が不  
十分であること、逆効  
果でしかない地区集  
会所修繕の負担を求め  
続けていること、憲法  
破壊の安倍政権の暴走  
に無批判に協力してい  
ること。住民参加・町  
民主役の認識が薄い町  
外業者への計画・調査  
・運営委託など。  
**賛成!!**  
中澤 莊也  
歳入においては、町  
税における徴収率の向  
上が見られ、適正な財  
源の確保がなされてい  
る。歳出における各目  
に生じている不用額は、  
事業未実施や事業費等  
を過大に見積もったこ  
とが原因ではなく、予  
算の目的は十分に達成  
しながら、節約、工夫  
によって生じたものと  
考えられる。以上の理  
由により平成27年度一  
般会計決算に賛成する。

# 平成28年 第3回定例会(9月議会) 町民に寄り添う議会を目指して!

9月1日～27日で開かれた議会は、27年度一般・特別会計7件の決算認定の他、4件の議案を審査・採決して閉会しました。初日には人事案件を、2日目の9日には条例1件と補正予算2件を、最終日には決算7件を原案通り可決。川根本町年金者組合から届いた「若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書」の提出は、引き続き検討課題となりました。

## ◎固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い神谷晴治氏の再任の同意。任期は3年。3年に1度行う評価替え以外、不服審査の請求はなかった。

## …全員賛成で可決

◎印鑑条例の一部改正  
マイナンバーカードで戸籍等をコンビニでも交付できるようにする。

## …全員賛成で可決

◎平成28年度一般会計補正予算(第3号)  
補正額8933万円増額で補正後予算総額を64億2381万円に。

…全員賛成で可決  
補正の主な内容は・歳入○地方交付税1億2870万円増額(今年度の交付額24億6670万円と決定)○県補助金2010万円増額(介護ロボット導入支援に300万円、診療所整備に520万円、林道整備に840万円、林道災害復旧に350

万円)。○基金繰入2628万円減額○町債の臨時対策債4320万円減額○雑入1千万円(国の二酸化炭素排出抑制対策補助)  
歳出○総務費305万円増額(委託料3件64万円、崎平地区集会所修繕補助金240万円、三分の2補助)○企画費1363万円増額(町有施設の二酸化炭素排出抑制可能調査委託料1千万円、タブレット講座開設委託料89万円、個人番号セキュリティ対策用パソコン借り上げ料70万円、情報基盤整備事業資機材保管庫95万円等)○介護保険費384万円増額(介護ロボット導入補助金300万円、介護施設入所低所得者負担利用減で国県返還金84万円)○農業費120万円増額(茶茗館加工所改修50万円他)。○林道費2200万円増額(南赤石線他2路

線改良)○土木費2440万円増額(町道水川線、西地名線他改良、河川改良・青部逆流防止工事、災害対策工事等)○教育費820万円増額(南麓寮増築に伴う消耗品・備品購入、小中6校のかわねフォ

ン電話接続126万円及び防火設備定期検査委託料130万円)○災害復旧費9千万円増額(大札線改修)

## ◎介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額4189万円増額で補正後予算総額を12億9679万円に。

## …全員賛成で可決

補正の主な内容は：27年度繰越金が決定し4394万円増額を、国県支出金の返還へ1967万円、支払基金等の返還へ100万円当てた残りを介護給付費支払い準備基金積立金取崩減額に206万円、積立に2122万円当てる。

増額(南赤石線他2路

増額(南赤石線他2路

## 9月定例会議案審査賛否票

(議長は裁決には入りません)

	中澤	鈴木	森	小藪	中田	山本	芹澤	根岸	野口	坂本	菌田
固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川根本町印鑑条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度川根本町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度川根本町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町一般会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町いやしの里診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



野口 直次 議員

◎大規模災害時における今後の対策について  
◎医療体制、孤立予想集落、避難所の運営方法、復旧復興計画等

問

**質問** 大規模災害（南海トラフ巨大地震、台風、大雨等）時における今後の対策、地区及び住民への取り組みについて。災害時、医療体制の確立は。

**町長** 町医療救護計画を策定、災害時には、本川根診療所、上長尾田澤内科医院、大下医院の3か所に設置する計画となっている「救護所」に於いて救護処置を行う。町内の医療資源不足に対応するため、医療チームの派遣や医療品等の物質供給等に関しては県へ要請する。

**質問** 当町の山間部孤立予想集落や、ヘリポートの整備状況は。

**町長** 孤立予想集落は19地域で想定。ヘリコプター離着陸場は町内20か所指定、地域防災計画資料編の一覧表に掲載、また町のホームページでも掲載。当町

防災上の最大の課題は孤立集落の対応である。消防、警察、自衛隊等の関係機関と協議し、その対応を確立していきたい。

**質問** 避難所の運営方法は。各地区の避難所への災害支援物資の仕分け輸送は。観光客の避難誘導、受け入れ場所は。今後は連合自主防災会ということも視野に入れてもいいのではないか。

**総務課長** 避難所運営は指定してある小中学校等に、毎年の運営の役割分担確認、防災諸機材の整備、配備状況等の確認を実施。町外からの緊急物資集積場所として、健康増進施設、文化会館の2か所を指定。観光客には町の防災倉庫に備蓄している物資等を提供して対応する。

**商工観光課長** 観光客の防災の備蓄の件は、

各施設が対応できる意識を持って頂きたいのが現状。お泊まりになっただけで災害が有れば宿泊施設で対応して頂き足りない分についてはその後行政という形になってくるのでは。

**町長** 本部機能が発揮出来て、情報収集がいかんにか出来るか非常に大事な課題と思う。

**質問** 災害時に地元の土木建設関係の重機、人材の確保は十年前と比較して充実しているのか。

**総務課長** 10年前と大きな変動はないが、重機を扱うオペレーター等の建設従業員の多くの方が町外からの通勤者であり、一つ懸念材料です。

**質問** 中・長期的な復旧復興のマニユアルと業務継続計画について。

**総務課長** 中、長期的復旧復興には、少ない職員数の中で、基本的



高郷にある町の防災倉庫

には災害対応に追われる状況でも、手順の重要性を痛感している。業務継続計画も今年度中には、その骨子、方向性を定めていきたい。

**質問** 震災復興支援に町からの職員が東日本、熊本に派遣されているが、状況を町民に話す機会づくりを町としては考えているか。

**総務課長** 被災地を目的のあたりにし災害支援本部に従事した町職員が、今後直接見聞した状況を、住民の皆様へに伝え、意識向上に繋がる様な対応を検討してまいりたい。

答

- ◎救護所は町内3か所の診療所で孤立予想集落は19地域を想定ヘリポート20か所を指定
- ◎今後は情報収集等をいかにできるか、本部機能充実も大事な課題



問

◎奥大井への若年層の増加の理由について  
◎教育総務課、並びに生涯学習課の文化会館への移転の可能性について



芹澤 廣行 議員



雨の夢の吊橋

**町長** 来訪者に対して土産物店、宿、各施設のおもてなしの心がお客様に伝われば、以後

**質問** 再訪を促す対策について。

**質問** 土産物品の購買額の増加対策について

**町長** 若者受けする商品があれば若者は即反応します。町では売れるものづくり事業費補助金制度を設けており、積極的に活用していただきたい。又新商品づくりのヒントなどを得るための講習会、セミナーなどを開催していきたいと考えている。

**質問** 復旧工事は平成29年度になると島田土木事務所から説明を受けているが、議会と協力して、一日も早い復旧を関係機関に要望していきたい。



夢の吊橋を訪れる人々



対岸から見た崩落現場

**質問** 教育総務課、生涯学習課の文化会館への移転の可能性は。

**町長** 現時点では移転を考えていない。本年4月1日時点の職員数は、合併時の185名から153名に減少しており、今年度末には6名の定年退職者が有るので、行政需要に応じた組織改編が必要となる。12月議会には課設置条例の改正案をはじめとする関連案を提案し、平成29年4月から組織再編を目指して行きたい。

**質問** 道路問題について、特に奥泉地区の崩落区間について。

**質問** 道路問題について、特に奥泉地区の崩落区間について。

何回となく訪れてくれるものと確信しております。高齢者であれば訪されたお客様を大切にお迎えし、営業については個々の戦略を期待するところです。



崩落現場の片側通行

答

◎増加する若者の多くは、夢の吊橋の水の色が見たいという理由が圧倒的に多い

◎効果的な行政運営上、現在は移転については考えていない



鈴木多津枝 議員

◎子育て負担軽減と支援拡充で子育てしやすい町づくりを  
◎介護サービスの低所得者利用控え起きていないか  
◎核廃絶・平和な町づくり掲げて

問

**質問** 「子供は宝」の町を。①貧困ライン(122万円)以下の世帯にいる子どもが過去最高の16・6%(6人に1人)となった。当町はどうか? 受給率が低い就学援助申請の改善を。②鳥田市の訪問育児サポートを当町でも。③給食費・保育料無料化、高校生への通学補助、お金がかかる中学卒業時に10万円程のお祝い金を来年度予算に盛り込み、子育て支援の拡充を。

**町長** ①県の貧困率は10・6%だが、計算は複雑で町は出していない。就学援助受給者は小中合わせて8世帯9人で、今後もホームページ等で周知に努めたい。②現在子ども子育て会議で検討中。実現できるものは取り組んでいきたい。③学校給食共同調理場運営委員会で出された意見は、ほとんどが給食費は保護者が負担すべきだった。

まずは他の支援策を充実させたい。高校生の通学補助や中学卒業時のお祝い金の支給が協議も行われておらず考えていない。保育料は、現在第2子で半額が31人、第3子以降無料が4人で、国基準の6割程の保育料となっており適当と考える。

**質問** 安心して老後を過ごせる介護保険に。①国は給付費を減らすために高齢者へ負担増とサービス削減を進めている。介護保険から町の事業にされた要支援者の訪問・通所の利用や負担状況はどうか?

②低所得者ほど利用できるか? ③在宅介護、介護予防に力を入れ、特養待機者への町の体制は十分か?



外遊びを楽しむ保育園児

が、困窮者への対応は? ③在宅介護、介護予防に力を入れ、特養待機者への町の体制は十分か?

**町長** 今年度から町の新総合事業に移行した。これまでも地域包括支援センター中心に対象者の意思を尊重した適切な支援につなげる。総合事業の目的は要支援者などへ効果的な支援を可能にすることにあり、制度改正によりサービスが低下しないよう多様なサービスの充実に努める。②対象者や家族の事情・意向を尊重し、軽減措置への対応も含めきめ細かなケアプランを作成して、適切な活用を進めている。③地域包括支援センターは総勢5名で様々な予防・普及・啓発講座や、地域の自発的な活動の支援に取り組んでいる。特養待機者は90名で内40名がグループホームや町外の老人保健施設に入所



元気に盛り上がる  
デイサービスセンターの高齢者

しており、町内の施設増設も進んでいる。在宅介護、施設介護の両方で介護職員の確保及び質の向上が期待され、今年度、介護職員初任者研修補助金を創設して資格取得を支援している。

**質問** 議会が決議した「核兵器廃絶・平和の町宣言」を行政も掲げ、平和行政の推進を。

**町長** 県内では35市町中29市町で議会や行政或いは両方が宣言している。当町も議会が全会一致で議決した宣言の内容を遵守し、日々平和行政推進に取り組んでおり、町の宣言については前向きに考えたい。

答

- ◎出来る限り取り組みたいが親の責任が薄れる心配も…
- ◎軽減措置を含め1人1人に適切に対応している
- ◎日々平和行政に取り組んでいる。前向きに考えたい

問

- ◎農地法その現状と課題は
- ◎農用地区域の見直しの基準は何か
- ◎UPZ圏内についての町の考え方は



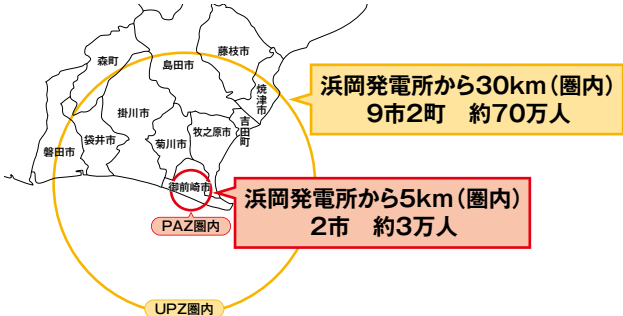
中澤 莊也 議員

**質問** 農用地区域内農地の見直しと農地の流動化 ①農地法における現状と課題をどのように捉えているのか。②何を基準に農用地区域の見直しを行ったのか。③今回の農用地区域の見直しを今後の農業施策等にどのように生かし、将来の町の農業の姿をどのように描こうとしているのか。

**町長** ①農地法の目的に沿って、農地は限られた貴重な資源であるという認識に立ち、今後も農地を守り、農業振興に努めていきたいと考えている。耕作を放棄する所有者が増えていることについては、大きな課題と捉えている。受け継がれてきた貴重な財産を放棄することなく、自分が耕作できないければ、効率的に利用する耕作者を探すなどの対策をしてい

ただきたい。②農地を守り農業振興を図っていく上で、現状の農地を確保するという基本方針で見直しを行った。③優良農地の確保を基本とし、担い手の育成や川根本町の特性を生かした農業の振興を図る必要がある。そのため、茶業については生産基盤の整備はもとより、認定農業者の育成や消費者ニーズ合ったお茶づくりに重点を置いた施策展開を考えていきたい。また、茶を補完する農産物の生産に取り組み、農業所得の拡大や農業経営の安定化を図っていききたいと考えている。

**質問** 原子力災害発生時における避難者の受け入れ体制の整備等は①避難者の受け入れに関する基本的な考え方は。②「避難所運営の手引き」への原子力災害発



耕作放棄された田

生時等の避難所の受け入れに対する事項の追加は。③UPZ圏についての町の考え方は。

**総務課長** ①スクリーニングの結果放射能に汚染をされていないと確認された人を受け入れる。

**町長** ②原子力災害発生時の避難者に特化した記載はされていないが、本年3月修正の「地域防災計画共通対策編」の中で、広域避難、広域一時滞在についての事項がいくつか記載(追加)されている。

③当町はUPZ圏外であり、現時点では、具体的な住民の避難計画等は想定していないが、今後、関係機関等とさらなる連携、調整を進め、最善の方策を講じられるよう調査検討していきたい。

**総務課長** 国がUPZ(原子力施設から概ね30km)というものを定めているので、それを上回って町が何かをするといったものの持ち合わせはない。

答

- ◎農地を守り、農業振興を進めていくための指針であるが耕作を放棄する所有者が増えている。
- ◎農業振興を図るため、現状の農地を確保すること
- ◎現状の中では、国の基準に従うしかない。

# 林業の明日を拓く

## 林業の未来

森林組合おおいがわ 組合長 山下 喜隆

### 林業の未来

江戸時代の山は浮世絵で見ると山にはげ山だらけでした。それは、燃料、肥料などに過酷に使われてきた長い歴史の結果でした。戦後、人々の努力により森の再生が進められてきました。再生が認められてきたが、石油や化学肥料の利用により、かつてのように森が使われなくなり、現在の緑豊かな森林になりました。

この充実した森林資源の利用は、少子化による住宅需要の減少が言われていますが、合板の国産材化、CLT（直交集成材）、セルロースナノファイバー、バイオマス利用など新たな製品、需要が生まれています。また、丸

太や製品の輸出が増え始め、県内のノダ合板も認証材による製品輸出を目指しています。東京オリンピックのスタジアムは「木と緑のスタジアム」となり、多くの認証材が使われます。これを機会に環境的、社会的、経済的に適切に管理された認証材が広く認知され、川根本町のFSC材も

認証材として選ばれ、そして、それが普通の時代がやって来るとしよう。長引く木材価格の低迷は森林所有者の林業経営からの撤退と川下企業による林地集積・林業経営への参入の動きがある一方、自伐型林業が再認識されるよ

うになりました。当町では「木の駅かわね」がスタートし、少しずつですが林業の振興と地域の活性化がはかられつつあります。いず

れは地産地消のエネルギー利用にもつながることを期待しています。林業は再生産可能な資源を持続的に管理していくものです。今は少し社会に協力していただきながら未来につなげていきます。

最初に、人が山に入り、山に親しむことで林業の再生を図ることができると考え、木の駅事業を立ち上げられた林業家の杉山さん、指導林家として林業技術の習得と伝承に努められていた森下さん、森林組合おおいがわの技術指導員として現場で林業の趨勢を体感されてきた太田さん、最後に林業家でもあり、森林組合おおいがわの組合長として大井川材の流通促進、林業の再生等に取り組みられている山下さんにそれぞれの立場で、林業の未来を語っていただきました。総じて林業の再生は厳しいという意見が強く、環境保全、水源



CLT (直交集成材) の製品

## シリーズ「林業の明日を拓く」を振り返って

議会広報委員会 委員長 中澤 莊也

最初に、人が山に入り、山に親しむことで林業の再生を図ることができると考え、木の駅事業を立ち上げられた林業家の杉山さん、指導林家として林業技術の習得と伝承に努められていた森下さん、森林組合おおいがわの技術指導員として現場で林業の趨勢を体感されてきた太田さん、最後に林業家でもあり、森林組合おおいがわの組合長として大井川材の流通促進、林業の再生等に取り組みられている山下さんにそれぞれの立場で、林業の未来を語っていただきました。総じて林業の再生は厳しいという意見が強く、環境保全、水源

涵養、森林レクリエーションの場等としての新たな山林の役割やFSC森林認証の促進、CLT材の利用普及など新しい取り組みが始まり、林業を取り巻く環境の変化もみられるという意見もあり、これからの林業の未来にも希望の光が差し込んできているようにも思われます。

CLTとは？ 欧州で開発された工法である。CLTは板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことです。

一般的に知られている集成材は、張り合わせる板の繊維方向が平行に張り合わせるのに対して、CLTは、繊維方向に直交するように交互に張り合わせています。

CLT工法の優位性

・短い建築期間

・耐熱性と高い省エネ効果

・すぐれた耐震性



FSC森林認証林の姿

### ※【注釈】

CLTとは？

欧州で開発された工法である。CLTは板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことです。

一般的に知られている集成材は、張り合わせる板の繊維方向が平行に張り合わせるのに対して、CLTは、繊維方向に直交するように交互に張り合わせています。

### CLT工法の優位性

・短い建築期間

・耐熱性と高い省エネ効果

・すぐれた耐震性

全4回にわたる「林業の明日を拓く」シリーズも、最終回となりました。林業の記事は終了しますが、本号の15ページから、新しく、「わが町の明日を拓く」シリーズがスタートします。これからも、川根本町を元気にしてくれている方々を紹介していきます。

# あの一般質問

## 一体どうなってるだやあ〜

議員がおこなった一般質問に対して、まちの取り組みはどうなったのか。前回号に引き続き、平成27年6月定例会の一般質問を取り上げます。

### Q：ユネスコエコパークの認定を地域振興にどのように生かすのか

**町長** この認定をいかに地域振興に結び付けるかということは、いかに定住人口、交流人口の増加、地域経済の活性化に結び付けるかということになる。

**現状** 指定区域の核心地域は光岳周辺と限定的で、その周辺が緩衝地域、全町が移行地域に指定されている。しかし核心地域のアクセス道路は崩壊して通行不能であり、工事の復旧に膨大な費用と時間がかかり、光岳へのアクセスは林道上に登山道を新たに整備するしかない状況にある。

したがって、本町の南アルプスの南麓でこの自然を生かした交流人口を増やすこと以外は考えられない状況にある。

### 【交流人口を図るための施策】

新しい観光資源の開発のため、モデルツアーを実施

寸又峡温泉駐車場（起点）→プロムナードコース→森林軌道跡散策→千頭ダム（ゴール）

豊かな自然と美しい眺望、珍しい森林軌道跡が新しい観光資源として人を呼ぶ



モデルツアーの様子



森林軌道跡 天子のトンネル

## トーマスフェアで冷茶サービスと観光PRを実施

8月9日及び20日に音戯の郷前において、「川根茶」の冷茶サービスを行いました。

両日も夏の真っ盛りで暑い日でしたが、トーマスフェアで県内外からおいでになった大勢の皆さんに呈茶をし、「美味しいお茶だね」と大変喜んでいただきました。リーフ茶不振の中、急須ではなく、冷茶でも美味しく飲めることの提案で、少しでも消費拡大につながればと思います。また、川根本町のパンフレットを配布し、観光PRも行いました。



(8月9日)

冷茶で喉を潤す観光客の皆さん



(8月20日)

# 町民念願の心の懸け橋となる 青部バイパス

川根本町民が一日千秋の思いで待ちこがれていた青部バイパス（仮称）青部トンネルの安全祈願祭並びに工事の起工式が、10月3日の秋雨降りしきる中、青部トンネル工事事務所前で行われました。



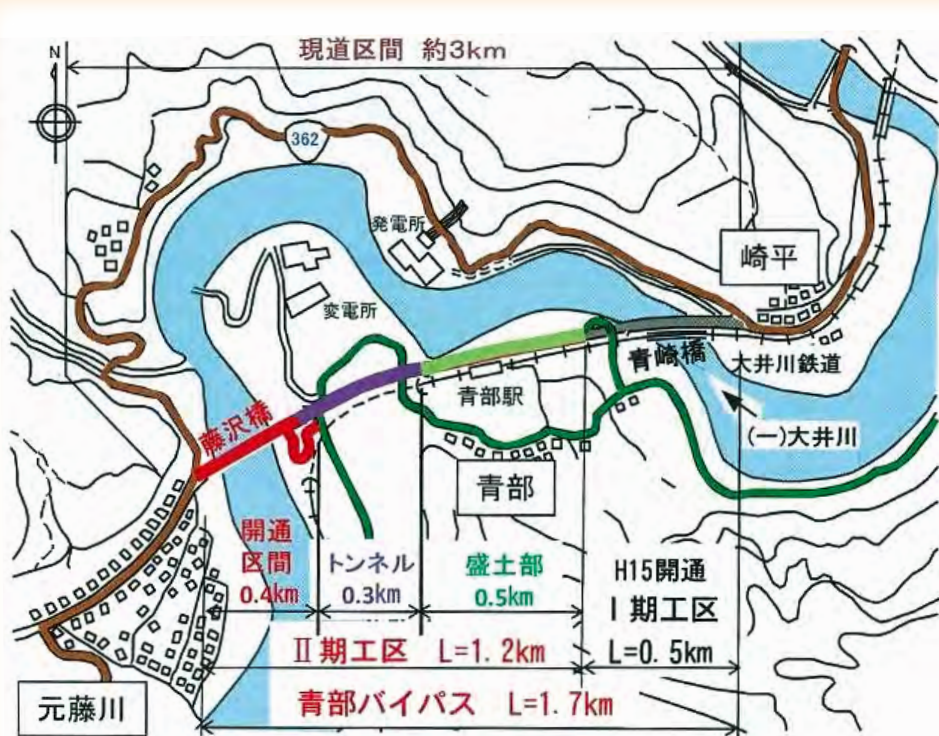
工事の安全を願って



トンネル工事に着工

川根本町における国道362号は、旧中川根町と旧本川根町を結び、奥大井地域の生活と観光を支える重要な道路であり、また災害時の緊急輸送道路として、地域の安全・安心に欠かせない道路です。しかし、元藤川～崎平の3kmの区間は普通乗用車のすれちがいも困難であり、観光シーズンは慢性的な渋滞を引き起こしています。

青部バイパスは、平成30年4月に全線開通予定です。完成後は、経済面、観光面他、住民の利便性の向上、町の活性化が期待できます。



トンネル工事を見学したい方は、事前に青部トンネル工事事務所 山下和也所長へ連絡してください。

TEL：0547-59-1115

# 川根本町の明日を拓く人たち

林業編に引き続き、わが町で頑張っている人たちを紹介していきます。

本号では、今年の4月からさらに発展した、エコティかわねのお二人にご協力いただきました。

## 自然・人・歴史・文化 町の魅力発信！

一般社団法人エコティかわね 代表理事 芦沢 哲哉

# ECO+T

## KAWANE

エコティかわねのロゴ



接岨湖をカヌーのメッカにするためにガイドとして活動しています

本年4月、それまで町に事務局を置いていた「川根本町エコツーリズムネットワーク」が発展的に独立し、「一般社団法人エコティかわね」となりました。これまで同様、自然や人、歴史、文化などの地域資源を生かした様々なプログラムを実施。地域の魅力を発信して交流人口の増加を図っています。

私たちが目指すものは、ロゴの「ECO+T」に込められています。ECOはエコロジー（環境）とエコノミー（経済）。人と自然の共生、地域経済の活性化を意味しています。Tは目標に向かって、ツーリズム（観光）やティ（茶と農業）、ツリー（木と林業）、ツナゲル（人と人、人と地域）などを手段として活用していきたいという思いです。

会員は現在47名。内訳は1/3が町外在住者、1/3が町外からの移住者、1/3が地元民です。地域を変えるにはよく「よそ者、バカ者、若者」が必要と言われますが、若者は少ないものの、とりあえず三拍子揃った構成です。

エコティの基本は「会員がやりたい事をやる」こと。その行動を会員同士で助け合い実現するための組織です。自己実現や地域活性化のために、何かやってみたい人はぜひ仲間になって下さい。

## まちづくりの先駆者に！

一般社団法人エコティかわね 事務局長 神東 美希

今年から「一般社団法人エコティかわね」になって、プログラム数、お客様、仲間も少しずつ増えています。会員のやる気やスキルも明らかに向上しました。行政や地域住民からの期待も感じています。

我が町のエコツーリズムにおける最重要課題は人材の確保と育成。いつでもお客様を受け入れられる体制にするためには、ガイドやコーディネーターといった人材を増やす必要があります。



子どもわんぱくセミナーにて（8月）



大札山山頂ベンチ設置イベントにて（5月）

正直、運営は厳しいものがありますが、ここ数年は頑張り時です。エコツーリズムをしっかりと地域に根づかせるため、エコティかわねがその先駆者になりたいと思っています。皆さん、応援よろしくお願いします。

# 議 会 日 誌

## 7月

- 5日 富士山静岡空港と地域開発をすすめる会
- 9日 南アルプス世界遺産登録推進協議会総会
- 13日 県土木事業説明会(山村開発センター)  
中学生海外英語研修壮行会
- 25日 後期高齢者医療広域連合議会7月定例会



区長さん方も真剣・県土木事業説明会



市町議会議員研修会

## 8月

- 4日・10日・16日 議会広報委員会
- 18日 市町議会議員研修会(静岡市グランシップ)
- 22日 5市2町議会連絡協議会
- 31日 県移動教育委員会



## 9月

本川根中学校運動会開会式

- 1日～27日 9月定例会
- 10日～24日 各小中学校運動会参加
- 13日～16日 第1・2常任委員会決算審査
- 13日 川根高校南麓祭

### ◆ 12月定例会の日程 ◆

12月1日 (木)	12月定例会(初日)・全員協議会
8日 (木)	12月定例会(2日目)・議運・全協
16日 (金)	12月定例会(最終日)

○議場は役場本庁3階です。  
○日程は変更することもありますので、詳しくは議会事務局(56-2229)までお問い合わせください。

**議会はどなたでも傍聴できます。  
ぜひ傍聴にお出かけください。**

### 編集後記

パソコンに向かいながら何気なく窓の外を見る。みかんの木や柿の木は枝にたわわに実をつけている。もう秋なのだ。季節の移り変わりを実感させられる。

そんな中、川根本町民が一日千秋の思いで待っていた国道362号青部バイパス(仮称)青部トンネルの起工式が雨の降りしきる中で行われた。この延長324mのトンネルが開き、青部バイパス全線が開通すれば、経済面や観光面にもたらす影響はもろろんのこと、旧町間の町民の交流も飛躍的に促進されるものと期待される。

旧町間を結ぶ心の懸け橋となる青部バイパスの一日も早い完成を心から願ってやまない。

中澤 莊也

#### 《議会広報委員会》

- 委員長 中澤 莊也
- 副委員長 鈴木多津枝
- 委員 中田 隆幸
- 根岸 英一
- 坂本 政司